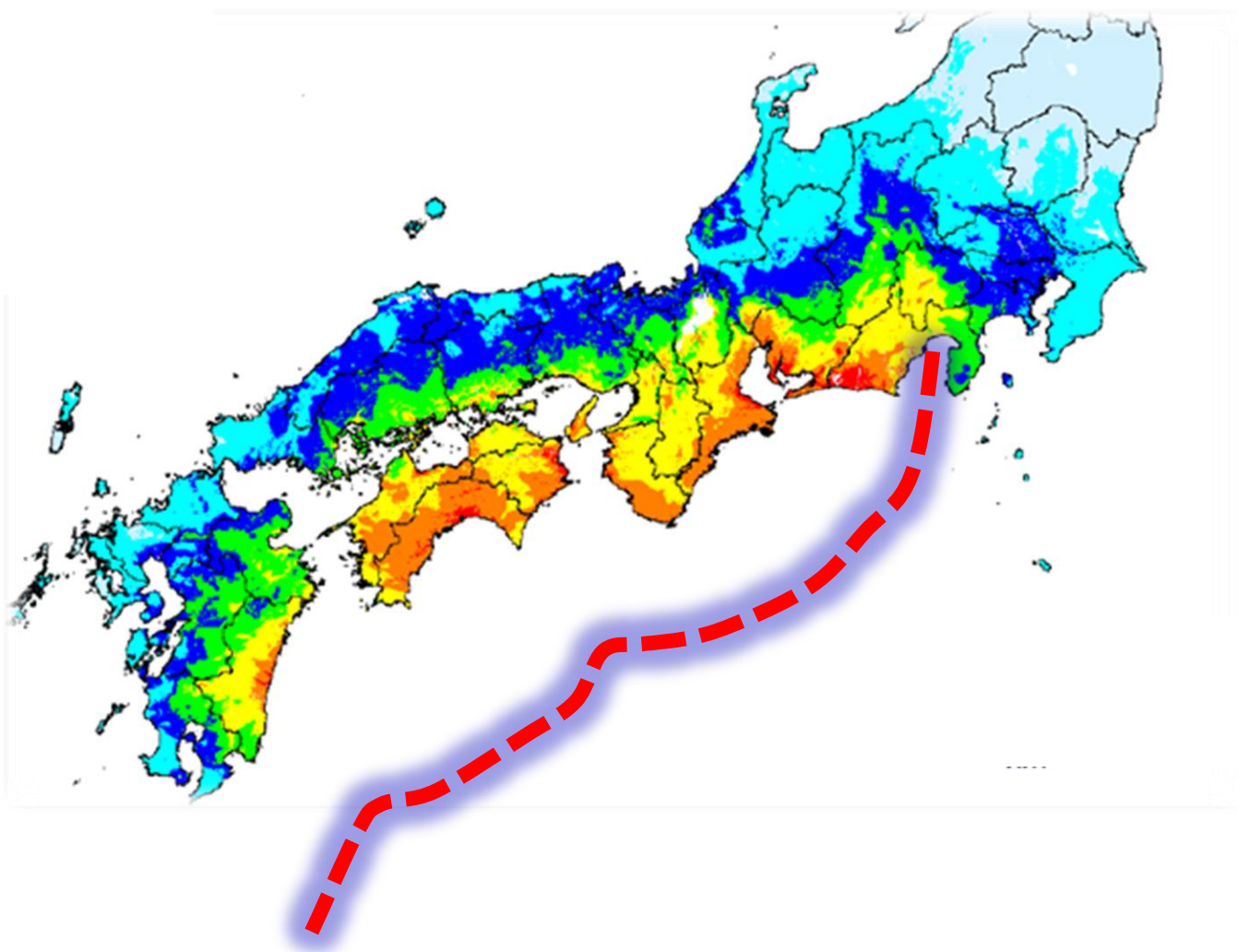


南海トラフ地震臨時情報発表時の 行 動 計 画



(令和3年2月)

総 社 市

1 総 則

国の「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」（以下、「基本計画」という。）が令和元年5月31日に修正され、これを受けて南海トラフ地震臨時情報（以下、「臨時情報」という。）の運用が開始された。

基本計画では、県、市が作成している南海トラフ地震防災対策推進計画や地域防災計画に、臨時情報が発表された場合の新たな災害応急対応や住民の避難行動を促進する対策を盛り込むことが示され、これに応じて各種対策を講ずる必要がある。

総社市は大規模な地震による著しい被害が発生する地域の基準（震度6弱以上）に該当しており、「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されている。

このため、総社市地域防災計画（震災対策編）に必要事項を盛り込むとともに、迅速な対応を可能とするため行動計画を策定するものである。

2 計画の用語

この計画において使用する用語の意義は、次のとおりとする。

- (1) 半割れ 南海トラフの想定震源域内プレート境界において、マグニチュード（以下、「M」という。）8.0以上の地震が発生した場合〔想定震源域を東側（東海・東南海地震エリア）と西側（南海・日向灘地震エリア）に分けて考え、過去の事例からどちらか一方で先行して地震が発生すると想定するようなケース〕
- (2) 一部割れ 南海トラフの想定震源域及びその周辺において、M7.0以上の地震が発生した場合（半割れケースの場合を除く。）〔想定震源域の一部で地震が発生すると想定するケース〕
- (3) ゆっくりすべり ひずみ計等で有意な変化として捉えられる短い期間に、プレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なる、ゆっくりすべりが観測された場合
- (4) 巨大地震 マグニチュードM8程度以上の大きな地震。学術用語ではないが、地震の大きさを端的に表す表現として、マスコミ等で広く使われている。
なお、大地震はM7.0以上と定義されている。

3 南海トラフ地震の特徴

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界（フィリピン海プレートがユーラシアプレートの下に沈み込む境界）を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震である。

今後30年以内の発生確率は70～80%と想定されている。過去の地震はM8クラスであったが、M9.0の東日本大震災級の巨大地震も過去に発生したのではないかとの研究結果もある。

南海トラフでは、想定震源域の東側と西側（概ね潮岬付近が境界）において、時間差で、大規模地震が発生した事例がある。（連動地震：余震ではない。）

○事例1

1854年安政東海地震と安政南海地震

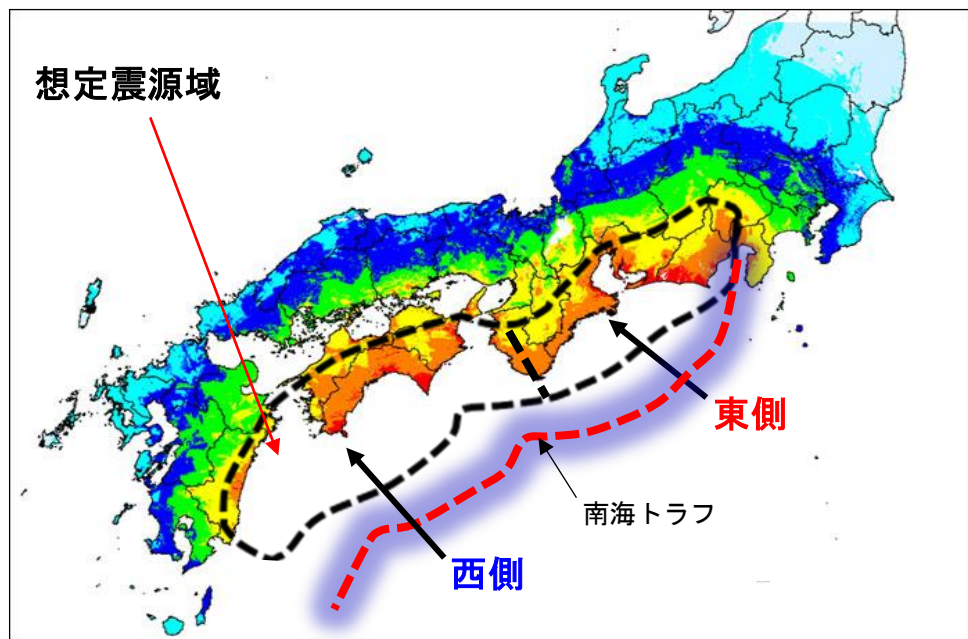
- ・南海トラフの東側で発生した約32時間後に西側でも発生

○事例2

1944年昭和東南海地震と1946年昭和南海地震

- ・南海トラフの東側で発生した2年後に西側でも発生

このほかにも、1707年宝永地震など同時又は連動して地震が発生している。



4 臨時情報

南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が、平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合に以下の①及び②を発表条件として、気象庁から発表される。

① 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。

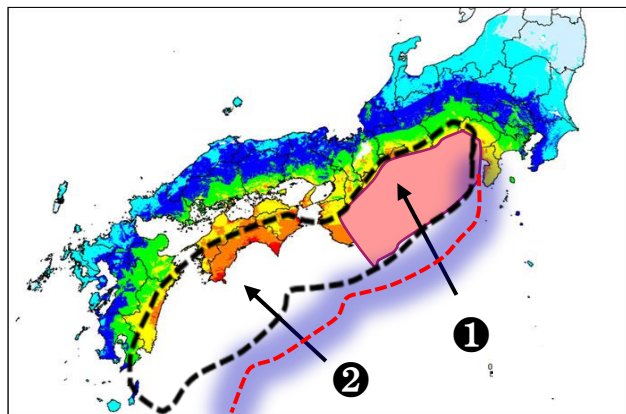
② 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合。

南海トラフでは、想定震源域の西側と東側で、数時間あるいは数年の時間差で大規模地震が発生した事例があり、臨時情報は、主にこの時間差発生による後続地震に対応するために発表される情報である。

(1) 臨時情報の発表対象となる異常な現象

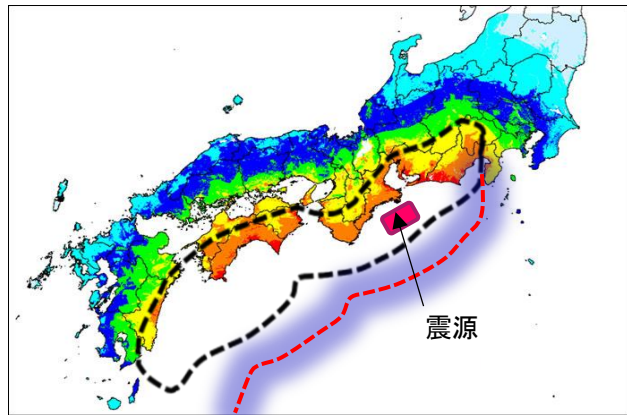
ケース① (半割れ：大規模地震M8.0以上／被害甚大ケース)

- ① 南海トラフ東側でM8クラスの地震が発生
- ② 西側は連動する可能性が高まる



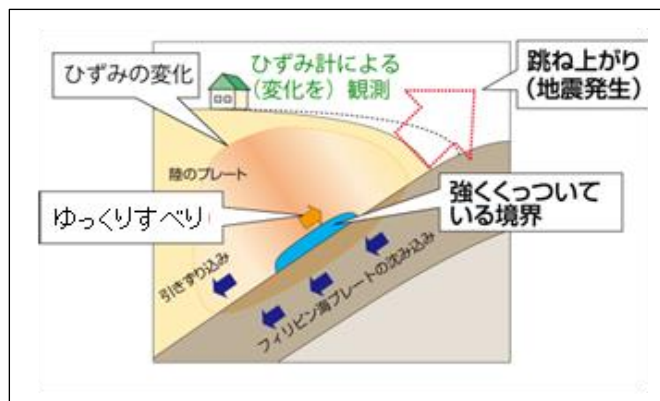
ケース② (一部割れ：前震可能性地震M7.0以上M8.0未満／被害限定ケース)

○南海トラフ沿いで、大規模地震に比べて一回り小さい地震(M7クラス)が発生した場合



ケース③ (ゆっくりすべり：被害なしケース)

○ひずみ計等で有意な変化として捉えられ、プレート境界で通常とは異なるゆっくりとしたすべり現象が観測された場合



(2) 臨時情報の種類

○ 臨時情報の種類

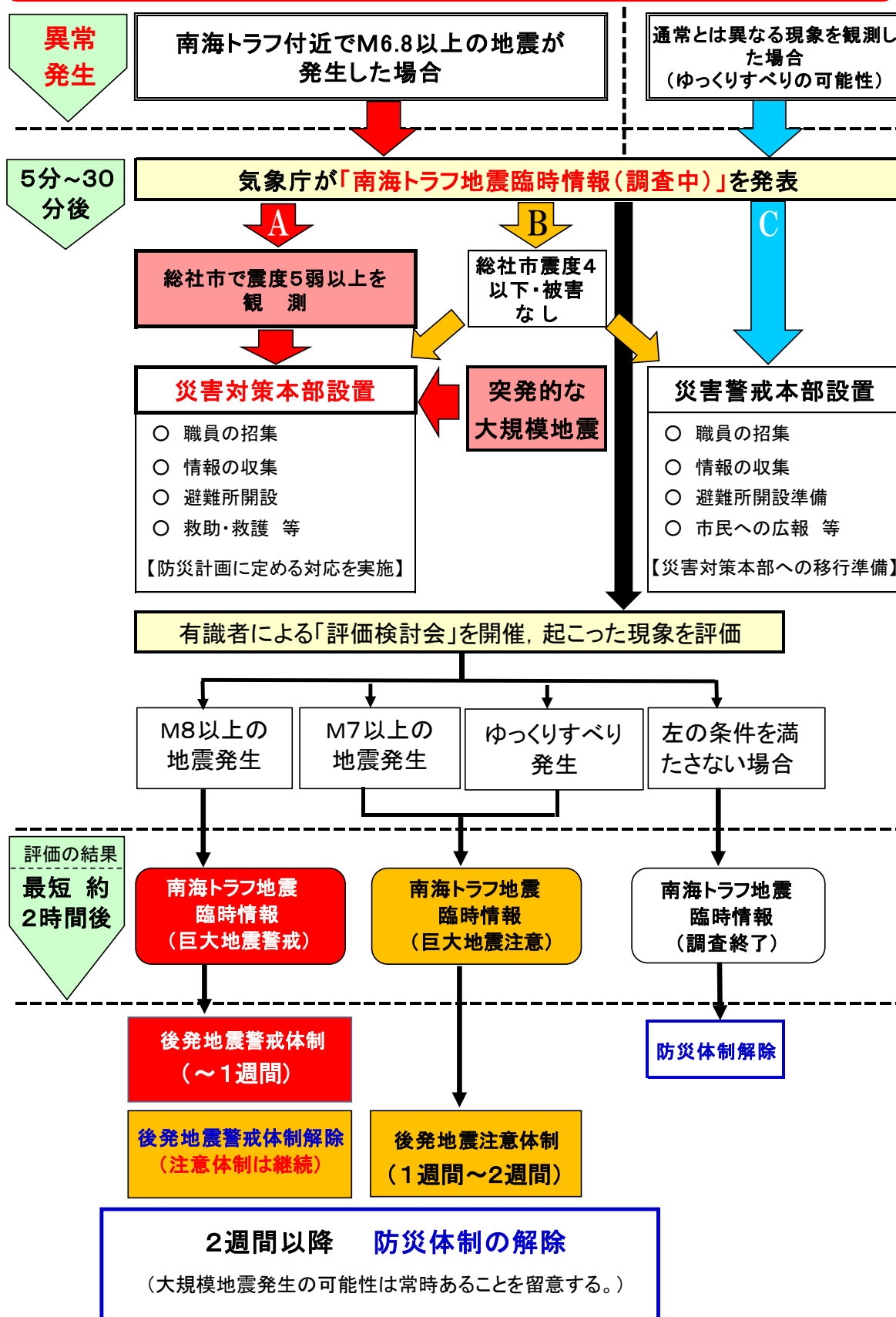
主に3つのケースでキーワードを付して発表される。

例：南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）といった形で発表される。

	情報種別	発表条件
南海トラフ 地震 臨時情報	① 調査中	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうかの調査を開始した場合、又は調査を継続している場合。 (想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や南海トラフの想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性のある場合等)
	② 巨大地震警戒	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ・想定震源域内のプレート境界において、M8.0以上の地震が発生したと評価した場合 (半割れケース)
	③ 巨大地震注意	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ・想定震源域内のプレート境界において、M7.0以上M8.0未満の地震(一部割れケース)や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合(ゆっくりすべりケース)等
	調査終了	「巨大地震警戒」、「巨大地震注意」のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

※ その他、調査結果発表後の状況の推移等を発表する場合は、「南海トラフ地震関連解説情報」として発表される。

(3) 臨時情報発表の流れ



(4) 臨時情報発表後の対応

① 臨時情報（調査中）発表時

A 南海トラフ付近（※）でM6.8程度以上の地震が発生した場合

（総社市の震度5弱以上の場合） 《Aパターン》

総社市域で震度5弱以上の地震が発生した場合は直ちに「災害対策本部」を設置して、非常体制をとり、次の災害対応を実施する。（防災計画による。）

- ・緊急初動班による情報収集
- ・全職員の招集（非常体制 第一次配備）
- ・被害状況の確認
- ・公共施設等の緊急点検
- ・救助・救護等の対応
- ・避難所開設及び開設要請（原則は全ての指定避難所・指定緊急避難場所、福祉避難所、ただし状況により開設規模を調整する。）
- ・教育機関への周知（休校の措置等を含む。）
- ・市民への情報提供（災害概要等）

B 南海トラフ付近でM6.8程度以上の地震が発生した場合

（総社市の震度4以下の場合） 《Bパターン》

総社市域で、震度4以下の地震が発生し被害がない場合は「災害警戒本部」又は「災害対策本部」を設置して、次の災害対応を実施する。

- ・緊急初動班による情報収集
- ・関係職員の招集（別表1）
- ・全職員への周知（夜間・休日の場合は、緊急連絡網による。）
- ・避難所開設準備
- ・公共施設等の緊急点検（特にインフラ）
- ・市民への広報（総社市公式LINE、メールマガジン、防災ラジオ等により、概況を説明）
- ・県内で震度4の地震を観測した場合には、危機管理室職員は参集して情報収集に努める。

C 異常な現象・数値を観測した場合で地震の発生なしの場合 《Cパターン》

市は、臨時情報（調査中）が発表された場合は、直ちに職員を招集して「災害警戒本部」を設置し、次の対応を実施する。招集する職員は、別紙1のとおりとする。

- ・全職員への周知（夜間・休日の場合は、緊急連絡網による。評価が

判明するまでは「自宅待機」とする。）

- ・情報の収集
- ・市民への広報（総社市公式 LINE，メールマガジン，防災ラジオ等により，概況を説明）
- ・災害対策本部への移行準備

※ 南海トラフ付近とは，想定震源域内及び海溝軸の外側 50 km 程度までの範囲をいう。

② 臨時情報（巨大地震警戒）発表時

市域で①A・Bの地震が発生していない場合は，後発地震に備えて「災害対策本部」を設置して警戒体制をとる。

警戒の期間及び主な対応は，次のとおりとする。

- ・警戒の期間は，国，県からの指示により 1 週間とする。
- ・市民，自主防災組織，事業所等への周知（総社市公式 LINE，メールマガジン，防災ラジオ，ホームページ，広報車等）
- ・避難所，緊急避難場所の緊急点検
- ・自主避難（事前避難）に伴う避難所の開設
- ・避難行動要支援者に対する避難準備の要請
- ・備蓄品の確認
- ・水道等インフラの緊急点検
- ・学校等の避難体制の確認
- ・老朽施設，通学路等の緊急点検
- ・イベント等，諸行事の中止又は延期の検討
- ・他機関との連携行動の確認
- ・その他必要な事項

③ 臨時情報（巨大地震注意）発表時

市域で①A・Bの地震が発生していない場合は，後発地震に備えて「災害対策本部」を設置して注意体制をとる。

ただし，状況により本部長の指示により規模の縮小又は「災害警戒本部」への移行も可能とし，注意体制を継続する。

注意体制の主な対応は，次のとおりとする。

- ・期間は，国，県からの指示により，1 週間から 2 週間とする。
- ・臨時情報（巨大地震警戒）に準ずる。

④ 市民等の対応（後発地震への備え）

ア 家庭における対応

- ・テレビ、ラジオ、市からの情報に常に注意して、最新の信用できる情報の収集に努める。
- ・噂、SNS等による発信元不明の情報に惑わされない。
- ・家族と安否確認（連絡方法の確認を含む）を行い、避難場所の確認を行う。
- ・非常持出品の確認を行う。
- ・家具等の転倒、落下、灯油等の危険物の安全措置を行う。
- ・火の使用を自粛する。
- ・万一の場合の脱出口を確保する。
- ・崖崩れ等の危険がある地域は、事前に避難を行う。
- ・自主防災組織は、安否確認・救出・避難等について確認を行う。
- ・自宅の被害がなければ在宅避難を行うなど、感染症対策の分散避難に努める。

イ 事業所等の対応（後発地震への備え）

- ・防火管理者等を中心に、職場の安全管理の徹底を確認する。
- ・業務継続計画（BCP）に基づく体制を確認する。
- ・消防計画、予防規定等を定めている場合は、それに基づき確認を行う。
- ・テレビ、ラジオ、市からの情報に常に注意して、最新の信用できる情報の収集に努める。
- ・噂、SNS等による発信元不明の情報に惑わされないよう、従業員等への徹底を図る。
- ・不特定多数の者が出入りする職場では、入場者の安全確保ができるよう対策を講ずる。
- ・従業員の安全確保を図る。
- ・避難ルートを確認する。
- ・高所作業等の危険場所での作業を自粛する。
- ・危険物車両等の運行を自粛する。
- ・耐震基準を満たしていない建物では、特に注意を要する。（市役所本庁舎及び西庁舎等）

⑤ 防災体制の解除

市は、国、県からの情報に基づき防災体制を解除する。

ただし、防災計画の定めるところにより、常時、大規模地震への備えを継続しなければならない。

⑥ 突発的に発生する場合

臨時情報の発表なく発生する可能性も考えられる。この場合は、防災計画の定めにより直ちに「災害対策本部」を設置して必要な対応をとる。

5 事前の準備等

(1) 市民への周知・啓発

市は臨時情報が発表された場合は、総社市公式 LINE、メールマガジン等の手段を用いて直ちに周知を行う。周知の内容は、別紙2のとおりとする。

また、緊急時に速やかな対応が行えるよう、平常時において臨時情報についての啓発を行い、知識の普及に努める。

(2) 従業員等への周知・訓練

防火管理者は、災害時において迅速な対応が行えるよう、消防計画に定める自衛防災体制、緊急時の行動、役割分担等を周知しなければならない。

また、必要に応じて訓練を行い、実効性のある体制及び知識を維持しなければならない。

総社市災害警戒本部 会議メンバー一覧

<南海トラフ地震臨時情報（調査中）発表に伴う対応>

	役 職	主 な 対 応
本部長	副市長	
副本部長	政策監	
部 員	総合政策部長	情報発信・総合調整
部 員	総務部長	庁内調整
部 員	消防長	救助・救護体制準備
部 員	建設部長	危険箇所・道路等の緊急点検 応急復旧体制準備
部 員	市民生活部長	広報準備・外国人への対応
部 員	産業部長	危険箇所・ため池等の緊急点検
部 員	環境水道部長	インフラの緊急点検
部 員	保健福祉部長	避難所開設準備・要支援者対応
部 員	教育部長	児童・生徒の安全確保 公共施設等の緊急点検
部 員	文化スポーツ部長	公共施設等の緊急点検
事務局	危機管理室	情報収集，対策本部設置準備

※ 会議メンバーは，状況により変更することができる。

別紙 2 臨時情報発表に伴う市民への広報イメージ

1 臨時情報（調査中） 地震の発生に伴い発表する場合 <A>

情報発信文例	年 月 日
<p>南海トラフ地震臨時情報（調査中）</p> <p>（本文）</p> <p>総社市から緊急情報をお知らせします。</p> <p>本日（○日）○時○分頃に○○○○○を震源とするM○.○（速報値）の地震が発生しました。気象庁が今回発生した地震と南海トラフ地震との関連について調査を開始しました。</p> <p>南海トラフ地震で被害が想定されている総社市は、引き続き注意が必要です。新たな情報が発表されたしだい直ちに公表します。今後の情報に注意してください。</p> <p>また、公式発表以外の情報には注意してください。特に、噂、発信元不明のSNSによる情報に惑わされないようにしてください。信頼できる情報で行動をしてください。</p>	

2 臨時情報（調査中） 通常とは異なる現象を観測した場合 <C>

情報発信文例	年 月 日
<p>南海トラフ地震臨時情報（調査中）</p> <p>（本文）</p> <p>総社市から緊急情報をお知らせします。</p> <p>○○地域のひずみ観測点で異常な変化を観測しています。</p> <p>気象庁が観測されている現象と南海トラフ地震との関連について調査を開始しました。</p> <p>南海トラフ地震で被害が想定されている総社市は、注意が必要です。</p> <p>新たな情報が発表されしだい直ちに公表します。今後の情報に注意してください。また公式発表以外の情報には注意してください。特に、噂、発信元不明のSNSによる情報に惑わされないようにしてください。信頼できる情報で行動をしてください。</p>	

3 臨時情報（巨大地震警戒）

情報発信文例	年 月 日
緊急 嚴重警戒	
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）	
<p>（本文）</p> <p>総社市から緊急情報をお知らせします。</p> <p>本日（○日）○時○分頃に○○○○○を震源とするM○.○（速報値）の地震が発生しました。気象庁がこの地震と南海トラフ地震との関連性について検討した結果、この地震は南海トラフ地震の想定震源域内で発生した「M 8.0 以上※の南海トラフ地震」であり、今後も巨大地震の発生する可能性が考えられます。南海トラフ地震は同じ領域で連続して起こる可能性があります。一週間は嚴重な警戒が必要です。</p> <p>新たな情報が発表されたしだい直ちに公表します。今後の情報に注意してください。</p> <p>また、公式発表以外の情報には注意してください。特に、噂、発信元不明の SNS による情報に惑わされないようにしてください。信頼できる情報で行動をしてください。</p>	

※ 半割れケース（大規模地震M 8.0 以上）の地震発生／被害甚大ケース

4 臨時情報（巨大地震注意）

情報発信文例

年 月 日

緊急 嚴重注意

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

（本文）

総社市から緊急情報をお知らせします。

本日（○日）○時○分頃に○○○○○を震源とするM○.○（速報値）の地震が発生しました。気象庁がこの地震と南海トラフ地震との関連性について検討した結果、この地震は南海トラフ地震の想定震源域内で発生した「**M7.0以上～M8.0未満※の南海トラフ地震**」であり、今後も巨大地震の発生する可能性が考えられます。南海トラフ地震は同じ領域で連続して起こる可能性があります。一週間は嚴重な注意が必要です。

新たな情報が発表されしだい直ちに公表します。今後の情報に注意してください。

また、公式発表以外の情報には注意してください。特に、噂、発信元不明のSNSによる情報に惑わされないようにしてください。信頼できる情報で行動をしてください。

※ 一部割れ（M7.0以上～M8.0未満）の地震発生／被害限定ケース

5 臨時情報（調査終了）

情報発信文例

年 月 日

南海トラフ地震臨時情報（調査終了）

（本文）

総社市からお知らせします。

本日（○日）○時○分頃に○○○○○を震源とするM○.○の地震が発生しました。気象庁がこの地震と南海トラフ地震との関連性について検討した結果、いずれの条件にも該当せず、現在のところ、南海トラフ地震発生の可能性が高まったとは考えられません。

ただし、いつ地震が発生してもおかしくないことに留意し、突発地震に備えて、日頃から地震への備えをお願いします。

今後の情報に注意してください。

また、公式発表以外の情報には注意してください。特に、噂、発信元不明のSNSによる情報に惑わされないようにしてください。信頼できる情報で行動をしてください。

◎ 外国人用

1 臨時情報 (調査中) <A> <C>

南海 (なんかい) トラフ地震 (じしん) 情報 (じょうほう)

総社市 (そうじゃし) から お知 (し) らせします。

今日 (きょう) ○時 (じ) ○分 (ぶん) ○○ () で 大 (おお) きい 地震 (じしん) (じしん) が ありました。

大 (おお) きい 地震 (じしん) の後 (あと) には、また地震 (じしん) が あります。 気 (き) をつけてください。

総社市 (そうじゃし) からの お知 (し) らせを よく見 (み) てください。

うその情報 (じょうほう) に 気 (き) をつけて ください。

2 臨時情報 (巨大地震警戒) (巨大地震注意)

南海 (なんかい) トラフ地震 (じしん) 情報 (じょうほう)

総社市 (そうじゃし) から お知 (し) らせします。

今日 (きょう) ○時 (じ) ○分 (ぶん) ○○ () で 大 (おお) きい 地震 (じしん) (じしん) が ありました。

この地震 (じしん) は 南海 (なんかい) トラフ地震 (じしん) です。

後 (あと) から大 (おお) きな地震 (じしん) が あります。

1 週間 (しゅうかん) は気 (き) をつけて ください。

総社市 (そうじゃし) からの お知 (し) らせを よく見 (み) てください。

うその情報 (じょうほう) に 気 (き) をつけて ください。

3 臨時情報 (調査終了)

南海 (なんかい) トラフ地震 (じしん) 情報 (じょうほう)

総社市 (そうじゃし) から お知 (し) らせします。

今日 (きょう) 〇時 (じ) 〇分 (ふん) 〇〇 () で 大 (おお) きい 地震 (じしん) (じしん) が ありました。

後 (あと) には, 大 (おお) きな地震 (じしん) はありません。

総社市 (そうじゃし) からの お知 (し) らせを よく見 (み) てください。

うその情報 (じょうほう) に 気 (き) をつけて ください。

※ 「やさしい日本語」を参考

南海トラフ地震臨時情報発表時の行動計画

作成	令和3年2月
編集	総社市防災会議
作成協力	岡山地方気象台